

2020 神戸創生懇話会 議事要旨

日時：平成 28 年 12 月 1 日 16:00～17:30

会場：神戸オリエンタルホテル 6 階 オリエンタルルーム

【委員】

北区は市全体の 43%の面積があり人口は 21 万 9,805 人(平成 27 年 10 月 1 日現在)、この大きな区に全国的に誇れる観光が 3 つある。

1 つは、有馬温泉で、豪華なトイレが設置されたところである。

もう 1 つは森林植物園、3 つ目があいな里山公園である。

森林植物園は非常に広大な敷地に色とりどりの植物が見られて、四季楽しめる場で、アジサイの品種が非常に多い。ハンゲシという非常に珍しい植物もある。

あいな里山公園は、江戸時代の農村風景を現代に伝えるために、田畑、ため池、当時の農村部落の茅葺き屋根十数棟を移築しており、ゴルフ場 1 つぐらいの大きな敷地の公園になる予定である。

私ら神戸市民は、官民ともにあらゆる機会を通して全国に発信していくべきである。

【神戸市】

北区はフルーツフラワーパークもあり、道の駅もできる。神戸に来た人が三宮から北区、西区へ回るような仕組みを兵庫県とも一緒になって考えていきたい。

森林植物園は工夫する余地があり、外国人墓地もある。これらは、相当観光資源としての可能性を秘めている。外国人墓地は死者の尊厳などを傷つけないような形で人が訪れるような方策が考えられないかということのを庁内で検討している。森林植物園、外国人墓地などは、都心とのアクセスを考える必要がある。観光ルートとして開発するということについては、旅行会社とタイアップするなど取り組んでいきたい。

【委員】

神戸での国際会議が初の 100 件超えだったが、全国では 8 位だったということで、都市の競争が激しい。

なぜ神戸かというストーリーが不可欠であり、PR を大いにやるべきだ。

2020 ビジョンについて、都市政策 163 号で非常に分かり易く書かれているので、この中刷りを予め配るなどすれば非常に会議に入りやすい。

【神戸市】

国際会議については、医療産業都市ということで、医療関係のコンベンションが多くなっているの
で、それを中心に神戸らしいコンベンションの誘致を引き続き促進をしていきたい。

最近増えているのが国際会議の中でも医療関係、医療産業都市に関係をした分野の薬学、或はIT
関係のものである。しかし、市内のホテルが満室状態で泊まりにくい雰囲気が出てきているため、
ホテルの建設を更に進め、受け入れ体制を組んで国際会議をもっと増やし良い循環にこれをもって
いきたい。

【委員】

東遊園地の社会実験は、初年度の社会実験で4カ月、5カ月という長期間、基本的には民間の実行
委員会で行い、しかもイベントが100件を超えているということで、我々の業界ではかなりインパ
クトがあった。私はここで神戸の底力・可能性を見せつけられたという気がしている。恐らくこの
実験で、生産者や子育てしている人とか、色々な人が繋がって、実は大きな資産ができたと思っ
ている。これを生かしながら、まさにプラットフォームを作りながら、神戸のシビックプライドを育
てていくような動きが広がっていくというふうに思う。こういうことが実はまちづくりとか、地域
の活性化、あるいはソフトのネットワークに非常に役に立っていく、こういうまちの作り方とい
うのが神戸にとっては非常に大きな資産になるだろうと思っている。そういう意味では、第一段階と
してはもう150点ぐらいつけたい成果だが、2020ビジョンなので、ここからが階段を上っていく
というところで重要だと思う。ここから先、例えば、東遊園地であれば周辺フラワーロード・道路
との関係はどうするか、ウォーターフロントとどう繋げていくか、居住地側もどういうふうにアク
セスしていくのか。そうなってくると、多分、部局間の連携みたいな話とか、地域のまちづくり団
体との話し合いとか、課題が応用問題的にどんどん難しくなってくる。でも、そこでアクセルを緩
めるのではなくて、プラットフォームやそういう資産を生かしながら上手くいくように、行政がき
っちりサポートしてほしい。

【神戸市】

昨年9月に都心の未来の姿、将来ビジョンと三宮の構想を出したが、市民の皆さんが、行政が作っ
たビジョンだけではなくて、自分たちで何かしようということで立ち上がった最たるものが東遊園
地だったと思っている。箱物とかハード整備だけではなくて、市民が盛り上がるような仕掛けを続
けていきたいと思うし、一緒になってやることで相乗効果が生まれると思っている。

【委員】

やはり2号線が問題なのだが、都心から海のほうに人が流れる所ができると、来年開港150年を迎

えるし、すごく海が賑わって、流れができていいと思う。

【神戸市】

ウォーターフロントでは、メリケンパークが現在リニューアル中で来年の4月に再オープンということで、人が集まりやすいように少し広場を増やす。工事は順調に進んでおり来年の春を目標にしていきたいと思っている。また、現在、新港第1突堤のホテルがオープンしたが、その背後地の調整に入っており、調整ができ次第、再開発に着手したいと思っている。

ウォーターフロントへのつながりはまさに課題で、本部会議の部会でも新たにウォーターフロントの関係の部会を作って、そことも連携し、まさに国道2号を挟んで、人がどう流れるかというようなことも仕掛けていきたいと考えており、そういったことで都心・三宮を進めていきたい。

【委員】

須磨には須磨海岸があり、駅のホームから砂浜が見える駅は、全国探してもそうなのではないかと思う。駅から海を見ている人がものすごく多く、飛行機が降りていく風景や明石海峡大橋の間に夕日が沈む風景を見ることができる。しかし、何かしら神戸の宣伝があると、有馬と北野坂とその辺しかなくて、須磨はちょっと外れている。

遠浅化が始まるというふうに聞いているが、わくわく感が全然私たちに伝わってこない。何かしらそういうわくわく感を感じる表現とか、こうなっていくとか、楽しみを持たせるような表現を是非してほしいとつくづく思う。

【神戸市】

須磨海岸については、港湾緑地に変更し整備に資金を投入したいと思っており、須磨駅前には遠浅の海岸が多くできる。トイレも綺麗なものを整備している。

【委員】

べっぴんさんが放映されるということで、観光客が神戸に来ると期待したが盛り上がりには欠けている。

テレビで、福岡への人口の流入がすごく多い理由として、1つ目が大手企業の支社とか支店が多い、それから、お洒落な商業施設が沢山ある、それと、家賃が安いということをやっていた。若者に選ばれるまちをコンセプトに進めたいということだが、まさに先ほど挙げた3つだと思う。

三宮駅前には貧相で、駅前の再開発というのは必須事業だと思う。

森林植物園や外国人墓地は知的障害のある人たちが掃除していて綺麗ないい所である。横浜でも外

国人墓地には観光客が大勢いる。アクセスが悪い所なので、そういうことを吟味しながら、きちんと整備して、是非観光客が沢山行くような所になったらいいと思う。

東遊園地の芝生の関係では、札幌の大通公園に、丸いテーブルと椅子がいっぱい並んでいて、たこ焼き屋や、トウモロコシ屋などが出店しており、生ビールの販売があったりして、皆さんそこで座って楽しんでいた。また行ってみたいと思った。神戸には本当に沢山の施設、素晴らしい所が沢山あり、もうあとひと手間かけたらもっと素晴らしいものになる。それから、まだまだPR不足であると感じている。

ポートアイランドで神戸コレクションをしており、東京コレクションに次いで、すごく沢山の若い子たちが集まってくるが、未だPR不足であると思う。

その点を考えて、観光客が沢山来るまちにしたらいいと思う。

それから、特に女性にとってはトイレは絶対に綺麗でないといけぬ。お金をかけてもやっぱり綺麗なトイレをどんどん作って頂けたらと思う。

【委員】

豪華客船が来ても、通関に時間がかかり船から降りるまでのロスの時間が長い。早く降ろして、1分でも神戸のまちを散策してもらおうチャンスを作ることが、神戸の港では大事ではないかと思う。

観光というのは、安全に帰国までを見るということで、命を預かっているという意味があるので、会議や観光で来た人を災害時に無事に帰国させるまでをどういうふうにするかというマニュアルのようなものをきちんと渡す、また、スマホにその国の言葉で情報を流す、スマホを持っていない高齢者には端末を貸出できるようなシステムなどが必要ではないかと思う。

ホテルで客室だけというホテルでなく、海外にあるようなコンドミニアム形式のちょっとしたキッチンがあるようなホテルがあると、滞在を長くしてもらえたり、医療産業都市の患者さんが来て家族が付き添いで来る場合などにも長期で滞在できる。イスラム教徒はハラルのこともあり、買ってきて自分で調理したいという希望が多いので、そういうアナウンスも要るのではないかと思う。

【神戸市】

通関については、数年前大型客船が来たとき以来何度か実施しており、時間の短縮はされていると思う。更に磨きをかけていきたい。

災害対策については、Wi-Fiで情報を流すなど取り組んでいるが、まだ十分対応できていない部分もあるので、来た人が安全に神戸を楽しんで帰国できるような、そんな流れを作っていきたいと考えている。

【委員】

食という観点から、神戸といえば神戸ビーフとなる方が多いが、実は、豊かな水産資源、美味しい魚介類が沢山神戸には入ってくる。ただ、場所的には、やはり垂水以西に限られている。淡路とか明石の辺りと上手く流れを作ってほしい。例えばサンタモニカなどでは倉庫を改造した、美味しい魚介類がたっぷり食べられるシーフードレストランがある。神戸でもウォーターフロントにフィッシャーマンズワーフやそういったシーフードレストラン、お洒落なブティックとかカフェとか、そういったものを作ってもらえると、より神戸の魅力がアップするのではないか。シーフードは世界中どこでも、だれでも楽しめる食事だと思うので、そのあたりも提案したい。

【神戸市】

水産物も神戸は非常に豊富であり、フィッシャーマンズワーフについては、兵庫県と神戸市の調整会議の場で井戸知事のほうからも神戸にないものでフィッシャーマンズワーフという発言があり、どういう形でできるか考えていかないといけない。神戸に来た人が、色々な食に満足して頂くような、そんな取り組みを進めていきたい。

【委員】

厚生労働省でも、多世代交流するような地域の中のコミュニティ拠点が大体千人規模に必要という方針を決められていると思うが、そうなると神戸市では1,500か所程度必要になると思う。もちろん地域福祉センターなどの拠点は活動されていると思うが、それだけではなかなか足りない。そこで空き家をコミュニティ活動の拠点にできないか。豊中市では、行政が需要と供給のコーディネート機能を担っているようである。調査をしないとイケないが、マッチング後、例えば広域的な活動をするのであれば補助金を出すなどし、コミュニティ拠点を作っていくことも面白いと思った。空き家関係の法律はできたばかりで条例も施行されたばかりなのですぐには難しいと思うが、そういったことを考えて頂ければと思う。

【委員】

教育日本一のまちを宣言されているが、現在財務省の方では教職員の定数削減が言われている。神戸が独自に教育環境を整えるということであるが、教職員が少なくなってしまうと、教育環境を整えることと逆行すると思うので、教育環境の充実と魅力ある教職員の育成をお願いしたい。教育日本一のまちが実現すれば、神戸で教育を受けさせたいという人々が移住してきて、人口増にも繋がると思う。教育が一番ということはブームではなく本当に神戸に住みたいということに繋が

ってくるのでよろしくお願ひしたい。

【委員】

シェアリングエコノミーは実体経済など色々なことを変えつつあるが、日本として一向に動かない状況を、逆に神戸はチャンスにすべきではないかということを昨年提案した。先ほどから実験都市という言葉がでていますが、それはとてもいいキーワードである。新しいベンチャーは何も保障されておらず、それは実験そのものである。実験を許容する風土、制度を神戸が持てれば、若者はやってくる。現在問題となっている空き家や商店街、駐車場などすべてが新しく未来を変えていく宝の山となっていくと思う。色々なことができるので、是非ご検討頂きたい。

【委員】

住宅のことにに関して、若い人は便利な所に住むと思うが、市営住宅はエレベーターがない住宅もある。そうするとエレベーター付きの民間マンションや手頃な一戸建てになるが、神戸市内は値段が高いので郊外へ行ってしまうことがある。ライフスタイルも多様化しており、色々なニーズがある。多様化する親のニーズに応えるような公営住宅、あるいは民間住宅の工夫をし、若い親が住みたくなるような住宅の整備をお願ひしたい。

【委員】

安定した雇用の創出に関して、起業家育成は本当に大事なことである。医療産業都市で海外や他地区から大手企業を引っ張ってきたりしているが、地元の企業が育っていないということが気になっており、不安を感じている。やはり、仕事がなければ人は集まってこない。その上で、素晴らしいまちにしていくのが順番であると思う。航空機や水素、医療など色々皆頑張っているが、もう少し神戸市としてもこちらの方に手を差し伸べてほしい。産業、工場がなくなっていくという話は沢山あり、きつい、汚い、危険と言われるものがさびれていくのであるが、それはなければ困るものであるため、この辺りにもスポットを当てて頂きたい。

【神戸市】

地元中小企業と医療産業都市との関係というのは、課題という認識をしており、過去から医療機器とかそういった医療関係のものづくりは、ハードルが高いということもあり、色々な取り組みは行ってきたが、なかなか実用化まで結びついていないという状況であった。そこについても今後、商工会議所や、機械金属工業会とも話をさせて頂きながら、そういった分野も力を入れていきたいと思っており、医療の本丸ではないのが、もう少しハードルの低い介護やリハビリ関係の支援も今後、

神戸市と医療産業都市としてもしていきたいと考えている。

【委員】

住みたいまちで神戸市がよく上位にあがってくるが、実際には人口が減っている。これはどういうことなのかと疑問に思っており、神戸に住んでみてどこがいいのか、どこに魅力を感じるのかをもう一度考えていきたいと思っている。若者がやってきて生活をするためには全区で神戸の魅力づくりをしていきたい。例えば、地元の人や来街者に聞いてみて、その各地の魅力を分析し、まとめ、そして一つの冊子やWEBに載せてPRする、こういった工夫が必要ではないだろうか。神戸に住みたいと思っておりながら、何故か神戸に来ないということは、そのPRに工夫の余地があるのではないかと考えているので、よろしくお願ひしたい。

【委員】

今回出されたテーマは問題解決をしないといけないテーマではあるが、そこに具体的な施策が行われることによって様々な物語が生まれていると思った。デザイン、ICT、イノベーション、シビックプライドの4つの横串を使い、縦ではなく横で物語として読むことで未来が見えてきたように思う。イノベーションは大きな課題であり、未来を語ることは私達の使命と思うが、私は問題解決型で実験をした結果、横串がどういう役割を果たし、どのような新しいテーマを引き出すのかを読んでいきたい。

また、今回強く関心を持ったことは、様々なデータを準備されて、その裏付けで紹介頂いたことである。神戸2020ビジョンには人口動態のデータとして神戸市が大学で学生を受け入れて人口が増加した後、卒業後に多くが転出しているのが分かる。ところが、私が注目したのは子育て世帯の30代から40代、45歳までが転入している点である。緩やかな膨らみなのだが、そこにどれだけ手を差し伸べて、その人たちを更に増やしていく仕掛けができるのか。そこが充実することによって、横串が上手く連動することで大学卒業後の神戸市からの転出も減ることに繋がらないかと思った。それから、神戸市にやってくる理由は、ハイカラであるとか文化があるといったただの憧れ以上に、安全で安心で、都市基盤がしっかりしているということがある。神戸創生戦略の進捗状況は今回の説明でよく分かったが、都市基盤や環境面の課題など実際に現場で進められていることもこれに重ねて紹介してほしい。

【神戸市】

本日の皆様のご意見を踏まえて2020ビジョンをより進化させていきたい、実施していきたいと感じている。

私どもは例えば「LIVE LOVE KOBE」(都市プロモーション施策)など新しい政策を出しているが、実際に移住をした人はまだ限られている。それぞれの政策の成果はか細いものがあるため、これをもっと大きく太くすること、そして政策を互いに関連付けてより効果を発揮することが大事と思っている。空き家の件もそうである。危ない空き家を潰しているが、これは私権の制限にもなるため、積極的・強権的に危ない家屋を潰していく都市はないが、周辺に大きな危険を及ぼしていたから敢えて批判も恐れずに行っているのである。使える空き家は多くあり、これらは、例えば地域コミュニティの拠点にしたり、福祉的な利用をしたりと色々な活用の仕方があるため、齋木委員のおっしゃられたように、横串を刺して、連携を密にして取り組んでいきたい。

東遊園地について、嘉名委員よりお褒めの言葉を頂き大変ありがたかった。芝生化の実験については、ルミナリエなどでなくなってしまうと思うので、どの区画が一番耐えられるのか、そこから再生する可能性があるのはどこなのかということ、11の区画に分けて検証しているところである。建設局が主体で行っているが、他部局も積極的に関与して、市役所の部局が一体となって行ってくれた。このような、横串で仕事をこなしていくことも、今日の意見に加えながらしっかりとやっていきたい。

最後に、中小企業対策について、これまでも色々としてきたが、この成果が十分出ているのかということを検証しながら行っていきたい。先日、大学生100人ワークショップに出席し、大学生とディスカッションする機会があった。多くの大学生が中小企業に関心をもっているが、情報がないと言っている。大学も行政も事業は行っているが学生に伝わっていない。これをどう伝えていくのかということとはとても大事な点であり、まだまだ工夫が必要である。

神戸市が行っている色々な事業についてもまだまだ工夫が必要と思う。小池委員より、須磨で行っている事業がわくわく感として伝わっていないという話があったが、我々は真剣に受け止める必要がある。事業をどう伝えるのか。例えば、新長田の合同庁舎については、デザイン重視の看板を立てたり、新長田駅に立てたりしていることもあり、多くの皆さんに知って頂いている。鈴蘭台の再開発については、鈴蘭台の過去の小学校や中学校、駅の様子を看板で並べており、多くの方がそれに見入っておられた。今日ご提案のあったWEBなどを含め情報発信についてまだまだ工夫していかなければならないと感じている。

須磨についても、須磨の皆さんにわくわく感をもってもらうような、そういう発信の方法を須磨区と本庁とで連携しながら工夫してほしい。

本日のご意見をしっかりと受け止めて、少しでも具体化できるように頑張っていきたい。